

特記仕様書(重要事項説明書)

工事名： 御坂中学校躯体解体及び外構工事(明許)

1. 施工条件明示事項について

当該工事の施工条件に関して、下記のとおり明示する。なお、下記の表に明示されていない事項及び明示の内容に疑義があるときは、発注者と協議するものとする。

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
工程関係	<input checked="" type="checkbox"/>	他の工事の開始または完了の時期による影響	北側道路からの車両侵入は極力控えること
	<input checked="" type="checkbox"/>	施工期間、施工時間及び施工方法の制限	現在、御坂中学校校舎解体工事(2期)を行っている。2期工事は内装部分が撤去済みとなり工期末はR8.3.27を予定している。仮囲い及び養生足場については業者間の責において引き継ぎを行うこととする。
	<input checked="" type="checkbox"/>	関係機関等との協議による施工条件	学校及び来年度工事予定の各種施工業者の協議を要する
	<input checked="" type="checkbox"/>	地元自治会等との打合せ協議	人家が近いため、騒音工場の場合は工事看板や通知文等により十分な周知をすること
	<input type="checkbox"/>	地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	
	<input type="checkbox"/>	設計上見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数	下記3. を参照
用地関係	<input type="checkbox"/>	工事用地等に関する条件	
	<input type="checkbox"/>	工事用仮設道路・資機材置場用の民有地等の借地	
	<input type="checkbox"/>	工事用地等の使用終了後における復旧内容	
周辺環境・保全関係	<input checked="" type="checkbox"/>	工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	新校舎と近接しているため、施工には十分配慮することまた、生徒が不便にならないよう対策を講ずること
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事に伴う影響が懸念される場合(家屋調査等)	近隣家屋の振動が予想される範囲は、事前に家屋調査(立会、記録写真)を行うこと
	<input type="checkbox"/>	水替え・流入防止施設	
	<input type="checkbox"/>	濁水、湧水等の処理対策	
	<input type="checkbox"/>	事業損失防止関係	
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/>	交通安全施設等の指定	安全が確認されるまでバリケード等により開放しないこと
	<input type="checkbox"/>	近接工事での施工方法、作業時間等の制限	
	<input type="checkbox"/>	落石、土砂崩落に対する防護施設	
	<input checked="" type="checkbox"/>	交通誘導員及び保安施設、保安要員の配置	交通誘導警備員(B)(交代要員無し) 8:00～17:00予定 250人配置予定
	<input type="checkbox"/>	有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	
工事用道路関係	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	施工期間の間が開く場合は安全対策を講ずるものとする
	<input type="checkbox"/>	搬入路の使用及び使用後の処置	
	<input type="checkbox"/>	仮設道路の設置	
	<input type="checkbox"/>	一般道路の占用及び条件	
仮施設関係	<input type="checkbox"/>	仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用もしくは兼用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	仮設備の構造及び施工方法の指定	特記による(図面参照)
	<input type="checkbox"/>	仮設備の設計条件の指定	
建設副産物関係	<input type="checkbox"/>	残土の受入及び仮置場所までの距離、時間等の処分条件	
	<input type="checkbox"/>	建設副産物の現場内での再利用及び減量化	
	<input type="checkbox"/>	建設副産物及び建設廃棄物の処理	

明示項目	明示事項		明示事項内容及び参考
障工 関事 係支	<input type="checkbox"/>	占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	<input type="checkbox"/>	地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
地盤 係改 良関	<input type="checkbox"/>	薬液注入工法の施工	
	<input type="checkbox"/>	その他の地盤改良の施工	
	<input type="checkbox"/>	周辺環境への調査	
その他	<input type="checkbox"/>	工事用資機材の保管及び仮置き	
	<input type="checkbox"/>	工事現場発生品	
	<input type="checkbox"/>	支給材料及び貸与品	
	<input type="checkbox"/>	仮設工法の指定	
	<input checked="" type="checkbox"/>	工事用水、電力等の指定	市及び、学校と協議による
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	適用工種:新営建築工事(解体工事、新営工事)

2. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

監理技術者制度運用マニュアル(平成16年3月1日国総建第315号)三-(2)-①に基づき、請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間として、下記のとおり実施するものとする。

①現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結の日の翌日から60日以内については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、発注者と協議の上、定めるものとする。

②専任を要しない期間の連絡体制、安全管理について

工事現場で実際、作業が行われていない期間においても、発注者との連絡体制の整備や必要に応じて現場の維持管理があることから、次の事項について打合せ協議簿で提出すること。

(1) 電話等により確実に現場代理人又は主任技術者等と連絡が取れること

(2) 緊急時(自然災害や事故等)に速やかに対応できる体制であること

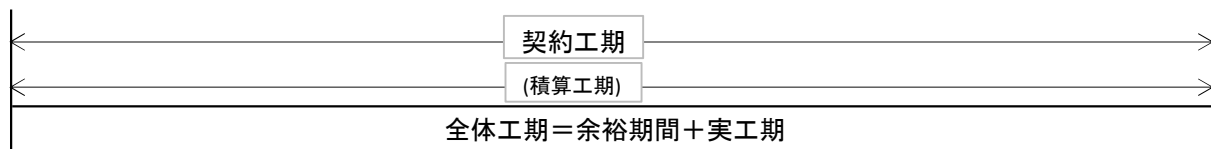
専任を要しない期間であり、打合せ協議簿において協議した期間の途中であっても、上記について虚偽や抵触すると、専任を要しない期間を取消しするものとする。

③現場代理人の特例措置について

※余裕期間を設定した場合の現場代理人の常駐緩和義務は「不要」となります。

ただし、工事着手までの余裕期間を設定する場合は、契約日に工事開始日を発注者に通知し、余裕期間を選定するものとする。余裕期間選定後の余裕期間の変更については、選定した工事開始日の7日前までであれば、工事打合簿により変更協議可能とする。

(算定日のイメージ)



↑契約日

工事完了日↑

※コリンズへの登録する技術者は実工事期間に基づき登録となります。

(工事検査)